

市議会だより

新大館市議会がスタート

議長には武田晋議員を選出

副議長は石垣博隆議員、監査委員は吉原正議員



令和5年第1回臨時会（5月22日）議場にて

新しい議会の構成	▶	2
一般質問	▶	4
令和5年第1回臨時会・6月定例会 議案等の審議結果	▶	10
全国市議会議長会表彰	▶	13
議会報委員会の紹介	▶	14



副議長
石垣博隆
(真政会)

新しい議会の
構成をお知らせ
します



議長
武田長
(無所属)



委員長
田村儀光
(真政会)



委員長
日景賢悟
(真政会)



秋元貞一
(令和会)



副委員長
柳館晃
(真政会)



花岡有一
(令和会)



副委員長
吉田勇一郎
(令和会)



伊藤深雪
(公明党)



武田晋
(無所属)



今泉まき子
(日本共産党)



伊藤毅
(令和会)



工藤賢一
(市民の風)



金谷真弓
(市民の風)



吉原正
(市民の風)



明石宏康
(市民の風)

厚生常任委員会 (定数7人)

総務財政常任委員会 (定数7人)

- 【主な審査事項】
- ▼ 戸籍、住民基本台帳
 - ▼ 国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療費、介護保険
 - ▼ 国民年金
 - ▼ 市民税などの賦課・徴収
 - ▼ 防犯、交通安全対策
 - ▼ 生活環境保全、廃棄物（み・し尿）処理
 - ▼ 市民の健康、地域医療
 - ▼ 生活困窮者対策、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉
 - ▼ 病院
 - ▼ 保育園、児童館
 - ▼ 斎場、ペット霊園

- 【主な審査事項】
- ▼ 総合計画
 - ▼ 財政計画、予算編成
 - ▼ ふるさと納税の推進
 - ▼ 防災対策、危機管理
 - ▼ 庁舎管理
 - ▼ 広報・広聴
 - ▼ 市の組織、職員人事
 - ▼ 市有財産の利活用
 - ▼ 工事の入札・検査
 - ▼ 選挙、監査
 - ▼ 消防
 - ▼ 現金の出納・保管
 - ▼ 他の常任委員会に属さない事項

議会運営委員会

議会運営に関することなど
について協議しています。
(◎委員長 ○副委員長)
(◎委員長 ○副委員長)

- ◎藤原 明 (令和会)
- 田中耕太郎 (令和会)
- 田村 儀光 (真政会)
- 日景 賢悟 (真政会)
- 明石 宏康 (市民の風)
- 佐藤 芳忠 (市民の風)

各種委員等

◇監査委員

吉原 正 (市民の風)

◇民生委員推薦会委員

秋元 貞一 (令和会)
柳館 晃 (真政会)

◇都市計画審議会委員

田中耕太郎 (令和会)
田村 秀雄 (真政会)
佐藤 芳忠 (市民の風)

◇秋田県後期高齢者医療広域
連合議会議員

武田 晋 (無所属)



委員長

田中耕太郎
(令和会)



委員長

田村秀雄
(真政会)

建設水道 常任委員会 (定数6人)
教育産業 常任委員会 (定数6人)



藤原明
(令和会)



副委員長

小畑新一
(公明党)



佐々木公司
(令和会)



副委員長

菅原喜博
(令和会)



岩本裕司
(市民の風)



石垣博隆
(真政会)



花田強
(市民の風)



石田健佑
(真政会)



佐藤芳忠
(市民の風)



相馬エミ子
(市民の風)

【主な審査事項】

- ▼道路、橋梁の新設・改良・維持管理、河川の改良・維持管理
- ▼都市計画の総合企画
- ▼都市計画、都市公園事業
- ▼市営住宅
- ▼中心市街地のまちづくりの推進
- ▼小規模水道
- ▼戸別浄化槽
- ▼水道事業
- ▼工業用水道事業
- ▼下水道事業

【主な審査事項】

- ▼農林業政策の総合企画
- ▼農林業、畜産の振興
- ▼農地等の利用集積
- ▼農工業の振興、企業誘致、中小企業の育成、
- ▼観光及び物産振興、地場特産品の開発、流通促進
- ▼観光行事の振興
- ▼移住交流の推進
- ▼小・中学校の管理運営
- ▼学校給食、教育研究所
- ▼生涯学習の推進、芸術文化の振興、青少年健全育成
- ▼社会体育、スポーツ推進
- ▼公民館、図書館、郷土博物館

秋田犬保存会の春の本部展開催とハチ公生誕100年事業について 花輪線開通と東大館駅舎の再利用について

相馬 エミ子 議員（市民の風）



援する企業や団体が5月末で1000件を超え、その経済効果は計り知れないものがあると確信している。

〔問〕 昨年8月の記録的な大雨は県北部で甚大な被害をもたらし、花輪線の大館〜花輪間が約9カ月間代行輸送を余儀なくされていたが、や

〔問〕 歴史のある秋田犬保存会の春の本部展が、今回大仙市での開催となり、多くの市民に衝撃を与えたボタンの掛け違いとはいえ、これまで80年もの間、保存会の手によって守られてきた春の本部展であり、しかも今年はハチ公生誕100年という記念すべき年でもある。今後の本部展開催について伺う。また、11月に予定されているハチ公生誕100年事業に対し、5900万円もの経費を見込んでいるが、どれだけ経済効果があると試算しているか。

〔市長〕 次期開催の方向性については、今のところ保存会から明確な意向は示されていない。市議会と連携しながら本市開催に向け働きかけていきたい。また、ハチ公生誕100年を迎えるに当たり、渋谷区とハチ公生誕100年事業実行委員会を立ち上げたが、本プロジェクトを応

援する企業や団体が5月末で1000件を超え、その経済効果は計り知れないものがあると確信している。

鹿角市では餅まきなどのイベントで盛り上げていたが、なぜ本市では歓迎のイベントを行えなかったのか。乗降客を増やし、花輪線を継続させるためにも全線開通を盛り上げるべきでなかったのか。また、東大館駅周辺には買い物ができない高齢者が多いので、気軽に歩いて買い物に行ける場所として、東大館駅舎を再利用できないか。週に一度でも朝市や直売所などを開設し、買い物弱者救済を。

〔市長〕 昨年8月の大雨被害で一部区間が不通となっていた花輪線は、沿線住民の通勤・通学、広域観光を支える重要な路線であり、全線再開を心待ちしていた。利用促進に努めてまいりたい。

○そのほかの質問
空き家対策で移住・定住促進をひきこもり支援条例と今後の取り組みについて

大館市議会

検索

クリック

一般質問

大館の未来を拓く「道の駅」新設について LGBT法案について

田中 耕太郎 議員（令和会）



市民の意見を伺い、議論を深めながら実現に向けて取り組みを進めていきたい。

〔問〕 LGBTなど、性的少数者への理解増進法案が学校教育に及ぼす影響は。

〔問〕 人口減少社会においても市民が希望を持ち、幸せに暮らしていく礎として、新たな道の駅を整備し、産業振興や防災のまちづくりを推進すべき。

〔市長〕 新たな道の駅の整備については、道路利用者の利便性向上だけでなく、産業振興や広域観光の推進に加え、本市をはじめ県北地域全体で必要とされる防災・医療・介護・教育・子育てを視野に、整備構想を立案中である。整備予定地はできる限り幹線道路に面し、災害復旧の拠点となるべき場所を検討中で、大館南インターチェンジ周辺は大きな可能性を秘めている。国や県など意見交換を重ねるとともに、議会や

〔教育長〕 市では、「一人たりとも置き去りにしない教育」の理念の下、一人ひとりの個性を尊重するとともに、学習指導要領に基づき、性的なものも含めた差別や偏見の払拭について、小学校段階から継続的、計画的に指導するよう努めている。具体的には子どもの呼称を男女とも「さん」付けにしたり、女子制服にスラックスを認めたりするなど、性別による対応の違いをなくすよう配慮してきた。性的な問題で悩んでいる児童生徒がいた場合は、養護教諭やスクールカウンセラーによる心理的な悩みや不安の相談にも対応していく。法案の成立により学校現場が混乱することはないと考える。

農業振興について 米代川流域治水の取り組み状況について 二井田地区工業団地の道路網整備について

菅原 喜博 議員（令和会）



などを実施する予定である。

〔問〕 大雨が降るたびに水害に見舞われる板沢地区周辺の治水対策を迅速に行っていたいただきたいが、今後の展望は。

〔市長〕 板沢地区周辺の治水対策について、国は今年度、米代川と引欠川合流部の一部において堤防のかさ上げを兼ねた管理用道路の整備を行う予定である。

〔問〕 二井田地区工業団地へつながらる道路の渋滞緩和対策として、二井田真中インターチェンジから直接工業団地へ乗り入れるアクセス道路の建設促進と道路ネットワークの整備に注力すべきでは。

〔市長〕 食料自給率向上のためにJAGグループが進める国消国産をしっかりと作り直していく必要がある。そのためにも基盤整備事業を強力に推し進めてまいりたい。

〔問〕 肥料や資材価格の高止まりにより経営が圧迫している農家へ市独自の救済対策をお願いしたい。

〔市長〕 本市独自の取り組みとして、省エネルギーや肥料低減機能を持つ農業機器の導入を支援する事業のほか、農畜産品販路開拓支援事業

〔市長〕 国・県でも二井田真中インターチェンジから直結する産業道路の必要性は認識している。市では渋滞緩和に向け、昨年は市道大町山館線に右折レーンを設置、今年度は主要地方道比内田代線の二井田高村交差点へ矢印信号機を設置予定である。

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

東京圏からの移住促進と空き家活用の促進について

吉田 勇一郎 議員（令和会）



「おおだて暮らし」の構成を見直してはどうか。

〔市長〕 「おおだて暮らし」各ページの閲覧数とAIチャットボットの質問内容を分析すると、移住支援制度、住まい、仕事に関する情報が求められている。閲覧者が知りたい情報にスムーズにアクセスできるように、ポータルサイトの見直し、改善を進めていきたい。

〔問〕 中期滞在型のお試し移住体験を提供できるように、空き家を活用し、民泊事業の普及を後押ししてはどうか。

〔市長〕 滞在期間などを自由に選択できるオーダーメイド型の体験メニューを用意していく。大館の魅力を実感することでリピーターになつてもらい、二拠点生活、移住定住につながる仕組みをつくっていききたい。

〔問〕 空き家の家主が賃貸に出しやすくする後押しはできないか。

〔市長〕 今年度から個別相談会を年6回実施する。空き家になる前から将来に向けた適正な管理と利活用につなげていくために、補助制度と参考事例を紹介したい。専門家による活用・相続・解体・遺品整理をテーマに空き家対策セミナーも実施する。空き家ビジネスは地域再生に必要でやりがいのある仕事だという雰囲気をつくっていくことが重要。

〔問〕 交流人口・関係人口をAターン・定住へとつなぐ経路をどのように設計しているか。

〔市長〕 AIDMAという消費者行動理論をベースにしている。まずは大館を知ってもらうために、秋田まるごとAターンフェアなど首都圏での移住相談会に参加し、働く場所以子育で支援、暮らし全般に関する情報提供を行っている。また、すでに関係性がある方々との関係をさらに深めるために、移住交流特設サイト「おおだて暮らし」での積極的な情報発信をはじめ、地域おこし協力隊によるSNSを活用した移住相談、市ホームページでの移住エントリーシートへの登録誘導を行っている。さらに、移住につながる可能性の高い大館出身者を対象とした情報発信とサポートの充実に努める。

〔問〕 地方への移住を検討中の人が求める情報にアクセスしやすくなるように、移住者向けのポータルペ

起業型地域おこし協力隊の募集で 地域課題解決と産業発展を

石田 健佑 議員（真政会）



〔問〕 市の地域課題解決と産業発展について市のスタートアップ等の起業支援策は。

〔市長〕 昨年度、「おおだて創業支援ネットワーク」の取り組みを通じて、33人を創業に導いた。世界に目を向け、失敗やリスクを恐れず大館から新たなビジネスを創造していくマインドを育み、創業を後押しする。



〔問〕 課題解決・起業型地域おこし協力隊などの幅広い募集を。

〔市長〕 議員ご提案の「起業型地域おこし協力隊」については、他自治体の事例を研究しながら導入分野を広げる。

〔問〕 渋谷区との産業連携策を。

〔市長〕 渋谷区とのご縁をきっかけに地元産品の販路拡大や商品開発につながる取り組みを進める。

〔問〕 市長が思う世界進出できる市の産業は。

〔市長〕 リサイクル・医療関連・航空宇宙、食文化や伝統工芸品、畜産業など世界を見据えている企業が大館にはある。これから始まるイノベーション・デポでさらなる世界進出の糸口になる。

〔問〕 大館市観光基本計画の遂行状況と秋田犬の里の現状と今後は。

〔市長〕 必ずしも計画通りに進んでいる状況で、「秋田犬の里」の課題は一人当たりの滞在時間が短い、リピーターの獲得につながないことである。そこで、昨年度から秋田犬の里を中心とした周遊型企画「謎解き宝箱」を展開した。芝生広場に設置している青ガエルについても、「秋田県大館市渋谷村」として滞在時間の延長に向けた取り組みを進める。イベント開催、キッチンカーの展開も民間と行政が連携して仕組み作りを進める。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

「内に優しい」大館市実現のため、パブリックコメントや「市民と語る会」の活用を

工藤 賢一 議員（市民の風）



〔問〕 内に優しい市政実現のためパブリックコメントの制度化や「市民と語る会」の活用を図るべき。

〔市長〕 行政協力員、各種団体を通じて意見・要望を聞いており、HOT函などでニーズ把握にも努めている。パブリックコメントの条例化については考えていないが、要綱の制定など基準の設定については柔軟に対応したい。

〔問〕 県による二次医療圏の広域化案について、市長は「歓迎する」と評価したが、医療機関へのアクセスや医療と介護の連携、多職種連携など課題も多い。市長の考えは。

〔市長〕 人口減が進む中、医療の高度化に対応しながら限られた医療資源を効率的に運用するためには、再編も重要。広域搬送の課題についてはすでに3医療圏間で定期的に情報交換を行い、心電図の伝送システムを導入するなど取り組みを進めている。医療・介護の連携、多職種連携については大館市在宅医療介護連携推進協議会の活動を再開させるほか、「地域医療連携推進法人」制度の活用も検討してまいりたい。

〔問〕 病院事業経営強化プランの策定にあたり、議会や市民、有識者関係団体からどのように意見聴取を行い、計画に反映させていくのか伺う。

〔病院事業管理者〕 現在、委託業者の支援を受けながら作業を進めている。素案がまとまり次第議会へ報告し、パブリックコメントも実施する。また、総務省の専門アドバイザーから助言を受けるほか、在宅医療介護連携推進協議会や地域医療構想調整会議において、医療・介護・福祉関係者から意見を伺う。

〔問〕 精神科病棟の老朽化が進んでいる。

〔病院事業管理者〕 かつて改築案も検討したが、竣工した42年前と比較して大幅に入院患者数が減少し、医師確保も不安定な状況。医師確保に見通しがつき次第、改めて具体案を検討してまいりたい。

インフラの包括的民間委託の試験的導入 県道22号線大葛地区のバイパス化 秋田犬の里及びJ R花輪線について

柳館 晃やなぎだて 議員（真政会）



が狭く、対向車と交差する時が危険であるため、一部のバイパス化を県に働き掛けては。

〔市長〕 県道22号は、鹿角市、十和田八幡平国立公園や森吉山県立自然公園への観光ルート、南の玄関口となる重要な基幹道路であり、大葛地区だけではなく、東館地区その他と一体となつて、地元関係団体の協力を仰ぎながら、期成同盟会を立ち上げ、バイパス整備実現に向け取り組む。

〔問〕 秋田犬の里の今後の運営、指定管理のスケジュール、青ガエルの展示の在り方、施設運営についてどのように考えているのか。

〔市長〕 令和7年度からの指定管理移行を目指し、コンテンツ等の検討を進めている。青ガエルについては施設全体を大館市渋谷村と捉えて渋谷とのつながりを強調した展示を行う。

〔問〕 J R花輪線の利用促進について、各種イベントとともにPRしては。

〔市長〕 花輪線利用促進協議会において、沿線首長と存線・利用促進に向け議論を交わしている。「ハチ公生誕100年フェスティバルin大館」などのイベントと共に利用促進を図り、県内外にPRしていく。

〔問〕 主に道路や河川のインフラ維持管理に係る包括的民間委託の試験的導入について、(1)業者側とのコミュニケーションは十分に取られているか。また、業者側の理解度はどうか。(2)業者側の創意工夫やノウハウは活用されているか。これを生かすため施工方法等の独自性や自由度を上げてはどうか。(3)地域住民の声が届くための方策はあるか。

〔市長〕 昨年12月から比内地域と十二所地区において大館版包括的民間委託を試験的に導入し、令和4年度分についてはおおむね予定通りである。来年度は本格運用に向け、受託者と実施工種やマネジメント業務の改善点等について意見交換を行い、民間事業者のノウハウや機動力を最大限発揮できるよう、受託者側が施工方法を決定・実施する「性能規定」の適用範囲の拡大を検討する。

一般質問

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

医療・福祉の連携と、活発な経済で、市民が安心できる大館を目指す

小畑 新一おばた 議員（公明党）



関する市民のニーズ調査をする必要があると考える。その結果を基に、墓園の運営計画を見直す機会にすべきと思うが、どのように考えているか。

〔市長〕 パンデミックをきっかけに、大きく変化した葬祭に関する考え方は、今後、さらに多様化していくものと思う。まずは、墓じまいのニーズを見極めるとともに、今後は市内宗教法人との情報交換を密にし、これからの時代に即したお墓の在り方を検討していく。

〔問〕 オンライン診療ができる移動診療車「在宅支援の中間型」医療Maasの導入を検討すべきではないか。これにより、通院に困難を抱える人や、そのご家族、介護施設職員の負担軽減が期待できるのでは。

〔市長〕 移動診療車「在宅支援中間型」医療Maasは、自動車を持たない市民や運転が困難な高齢者の負担軽減や限られた医療・介護資源の持続可能な提供体制が確立できる有効な取り組みと認識している。

〔病院事業管理者〕 移動診療車の導入による、高齢者・施設入所者や介護職員などの負担軽減効果は大きい。全国の取り組みの成果を検証し、慎重に分析した上で判断したい。

〔問〕 合葬墓のニーズ調査を再度実施すべきではないか。墓地の所有状況や家族状況とともに、墓じまいについての予定の有無など、墓地に

〔市長〕 賃金水準を上昇させるためには、企業が大きな視点をもって市場を広げていく必要がある。それには競争力を高めることが必要であり、企業の統廃合が繰り返され合理的な形へと姿を変えていくことが前提である。挑戦する企業をつくるために、行政も常に挑戦する姿勢を示していきたい。

大館版mobiの運行について

花田 強 議員（市民の風）



〔問〕 旧大館市内の公共交通は、縦横に各方面から市立総合病院を経由した路線バスに加えて、市内循環型バスハチ公号、さわやかみなみ号の運行など、ほぼ幹線道路を網羅しているほか、タクシー会社が4社も営業しているなど交通体系が構築されていると思われる。この密度の濃い公共交通網が敷かれている旧大館市内になぜ新たな「大館版mobi」プロジェクトの試験運行なのか。

また、この事業は国の交付金を受けて試験運行されている事業だが、交付金がなくなると市民が負担することになる。市としていつまでこの事業を続けるのか。

〔市長〕 大館版mobiプロジェクトは、地域公共交通の活性化、再生に関する法律により実施されている事業である。人口減少が拍車をかけている中に

おいて、地域公共交通の維持管理が厳しくなる中、高齢者の運転免許証の返納がますます増加している昨今、受け皿として地域公共団体である市が地域の公共交通事業者と話し合い、策定しているのが大館版mobiプロジェクトである。現在、実証運行で得られたデータ（区域・時間・台数など）や利用者の意見を分析し、利用者ニーズはもちろん地形や風土にかなうサービスへ改善していく。

採算性については、昨年10月から今年2月の収支率は約30%となっている。当初想定していた以上に反響が大きく、特に冬期間は申し込み対し配車が間に合わない時間帯もあったことから、混雑時の対応については改善策を検討していく。

また、大館版mobiプロジェクトは、国が求める地方公共団体が中心となって策定する地域公共交通計画等を通じて地域移動手段の確保・充実をはかるため取り組みを支援する事業であることから、今後も法律に基づき申請していく。

このほか、試験運行エリア以外から運行の要望があり、公共交通機関と良好な関係を築きながら本格運行へ注力する。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

河川流域治水による農地被害は国が責任をもって補償すべきである

岩本 裕司 議員（市民の風）



〔問〕 治水対策により、被害に遭った農家の財産である農地を守ることや、農業経営を守るため、治水対策に起因する被害は国が責任をもって補償する制度を確立することを、大館市として国に求めていくよう取り組むべきである。大雨の都度、堤防からの越水により水田に泥が堆積し農作物の減収や泥の撤去費用が負担となり、農家は農業経営が維持できず、農家をやめたいという声も聞えてきている。流域治水対策として河川の整備、治水対策を進めるとともに、被害を受けた農家には国が責任をもって、作付けができるまで補償すべきである。

〔市長〕 冠水による農作物被害については農業共済や収入保険によって保証されているものと認識している。被災した農地の復旧については、農地・農業用施設災害復旧事業や農地・農業用施設少災害復旧支援事業を活用していただき、農業者の負担を極力抑え、早期に復旧できるように

取り組んできた結果、90%は今年度作付け可能になった。気候変動による水害の激甚化、頻発化を踏まえ、国や県との連携を強化しながら流域全体での治水対策に取り組んでいく。

児童発達支援センターひまわりの設備について

〔問〕 ひまわりは、市立障害者福祉センターにあって、施設は、大人仕様となっており子どもが使用するには、かなりのハンディキャップがある。洗面台の使用には、踏み台を使用している。しかも、高さの違う2種類の踏み台を使っている。そのため子どもが足を踏み外さないよう手すりが設置されている。特別な配慮が必要な児童に対し、早期療育を行うことで健全な発達を促すことから、ひまわりが、子どもたちの健やかな育成ができる環境であるべきである。

〔市長〕 職員が工夫しながら、子どもが利用しやすい環境を整えている。施設の現状を確認して、改善に向けた準備を進めている。先進的共生社会ホストタウンとして、ユニバーサルデザインのうち、づくりと個々のバリアフリーの観点も踏まえ、今期計画分の分析・評価を行った上で障害児の健やかな育成のため発達支援体制の構築に向けて議論していく。

子育て応援のため、18歳まで医療費完全無料化、 学校給食費の無償化を望む 扇田病院について

今泉 いまいずみ
まき子 まきこ
議員（日本共産党）



〔問〕 8月から医療費助成の拡大の具体的内容は、子育て応援として条件なしで医療費を完全無料化してはどうか。

〔市長〕 対象を18歳まで拡大したい。住民税非課税世帯は全額援助、課税世帯のうち基準額以下の世帯は半額援助、基準額超過世帯は、入院医療費を半額援助とし、8月から実施したい。医療費の完全無料化については、財源確保や医療費の波及増が懸念されるなど、保険事業運営上の課題があることから、今後国・県の動向を注視していく。市では子育て支援に関し「大館子育て家族会議」を創設して地域全体で子育てを支援していきけるような総合的な家族政策を推進していく。

〔問〕 子育て応援として学校給食費を無償化してはどうか。

〔市長〕 市ではこれまでも低所得世帯には就学援助制度により給食費の支援をしているほか、給食費の物価上昇相当分を補助する事業を補正予算に上げている。本市では給食費の未納はない。国の動向を注視しながら子ども・子育て支援の充実に取り組んでいく。

〔問〕 扇田病院は市立病院での急性期医療の後の受け皿の役割を果たしている。病床は余裕を持って確保しておくべきでないか。

〔病院事業管理者〕 総合病院から扇田病院への転院患者は年間100人ほどで退院総数の1・5%。ベッドがあっても医師がいらない。現在の6割のベッド数が適当である。扇田病院単体での資金不足比率は令和3年度で30・3%、令和4年度はさらに悪化する見込み。公立病院として持続可能な基準を超えている。これまでよりも広域的な視点で医療機関の役割分担と連携強化が必要。将来にわたって地域医療を持続的に提供できるよう、扇田病院の医療機能については経営強化プラン策定の中で検討していく。

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

「未来大館市民」子どもたちに世界への架け橋をつくる

田村 たむら
儀光 のりみつ
議員（真政会）



〔問〕 3期目当選おめでとうございます。選挙戦を振り返って新たに感じたこと、また、市政運営にどう生かしていくのかお尋ねする。

〔市長〕 このたびの選挙において多くの市民の皆さまからご信任いただき、再度市政のかじ取り役を担わせていただくこととなり、改めて身の引き締まる思いだ。私の掲げてきた政策の方向性に間違いはなかったと、改めて確信するとともに、引き続き全力で市政運営に当たる決意を新たにしている。選挙においては二つの方向性を示させていただいた。「暮らしをつないで内に優しく」については、直接市民の声をお聞きした中で、特に地域医療と子育て支援を、丁寧かつ柔軟に対応していかなければならぬと強く感じた。「まちをつないで外に強く」については、大館駅インランドポ構想や、新たな公共交通体系の構築など、人とモ

ノの流れを加速させ、稼ぐ力を育てる取り組みを計画に盛り込み、次世代につなぐまちづくりを着実に進めていく。

〔問〕 八幡平が観光庁のモデル観光地に選定され、本市にとって絶好のチャンスと思うが、どういう取り組みを考えているのかお尋ねする。

〔市長〕 八幡平エリアに近接する本市として大きなチャンスと捉えており、インバウンドの誘客、大館能代空港やJR花輪線の利用促進につながるものと考えている。鹿角市、北秋田市など周辺自治体や関連団体と連携しながら、観光資源の磨き上げと情報発信に努めるとともに、北東北全体が盛り上がりつついくよう注力していく。

〔問〕 ベルギー訪問について「ビジネスのやり取りを基本にした中で両国間の交流、特に子どもたちの交流実現につなげていきたい」と新聞記事にあったが、未来を担う子どもたちのため、ぜひとも実現してもらいたいと思う。

〔市長〕 訪問を通じ、大きな可能性を秘める子どもたちに世界を知り、体験する架け橋をつくることこそ「未来大館市民」を育むことにつながると確信しており、実現に取り組んでいく。

令和5年
第1回臨時会

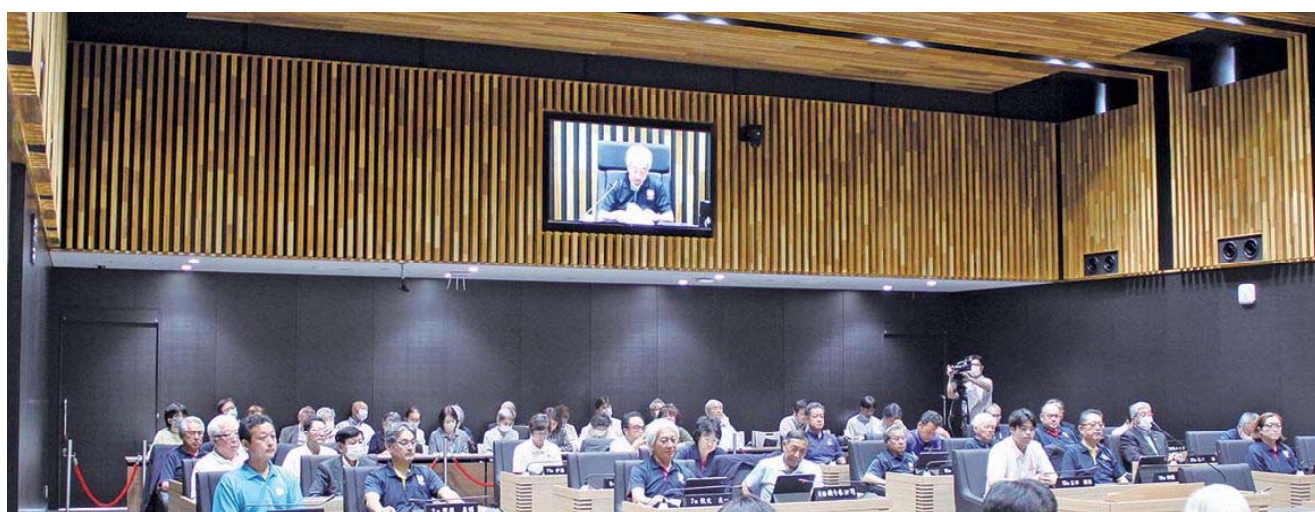
主な議案等の審議結果

議長・副議長選挙

新議長に武田晋議員を選出

新副議長には石垣博隆議員を選出

(新しい議会の構成は2、3ページに掲載)



新しい議会の様子

専決処分の承認

承認

認第2号 専決処分の承認について

(大館市市税条例等の一部を改正する条例)

認第3号 専決処分の承認について

(大館市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

認第4号 専決処分の承認について

(令和5年度大館市一般会計補正予算(第1号))

認第5号 専決処分の承認について

(令和5年度大館市一般会計補正予算(第2号))

令和5年5月22日に開催された令和5年第1回臨時会は、議長・副議長の選挙、専決処分の承認のほか、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の定数及び選任、監査委員の選任などを議決・決定しました。

6月 定例会

令和5年6月定例会は、6月5日から22日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告11件、条例案6件、単行案5件、予算案8件、人事案3件、合計33件でした。ここでは審議の結果の主なものをお知らせします。

条例案

原案可決

- 議案第53号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 議案第54号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 議案第55号 大館市軽費老人ホームに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第56号 大館市建築関係手数料条例の一部を改正する条例案
- 議案第57号 大館市火災予防条例の一部を改正する条例案
- 議案第58号 大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

単行案

原案可決

- 議案第59号 財産の取得について（基幹業務システム仮想化基盤データストレージ1台、高機能無停電電源装置2台）
- 議案第60号 財産の取得について（除雪ロータリ（2.2m級）1台）
- 議案第61号 財産の取得について（小・中学校用電子黒板90台）
- 議案第62号 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車1台、高度救命処置用資機材一式）
- 議案第63号 市道路線の廃止について（長森住宅1号線外2路線）

予算案

原案可決

議案第64号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第3号）案

〈主な事業〉

- | | | |
|------------------------|------|-------|
| ・ ふるさと応援寄附基金積立金追加 | 1億 | 876万円 |
| ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費追加 | 2億4, | 356万円 |
| ・ 野遊びSDGs推進事業費追加 | 1億5, | 621万円 |
| ・ ハチ公生誕100年プロジェクト事業費追加 | 5, | 911万円 |
| ・ 道路橋梁改良補修事業費追加 | 3億5, | 030万円 |
| ・ 市営住宅ストック総合改善事業費計上 | 7, | 552万円 |
| ・ 消防署北分署庁舎建設事業費計上 | 1億2, | 587万円 |
| ・ 社会教育施設工事費追加 | 1億7, | 248万円 |

以上を含め、歳入歳出予算補正額 30億7,630万2,000円

予算案

原案可決

議案第74号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第4号）案

《主な事業》

- ・ 障害者支援施設等物価高騰対策事業計上 1,096万円
 - ・ 介護保険施設等物価高騰対策事業計上 2,870万円
 - ・ 保育所等物価高騰対策事業計上 649万円
 - ・ 貸切バス利用促進事業費計上 431万円
- 以上を含め、歳入歳出予算補正額 5,047万8,000円

原案可決

議案第65号 令和5年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）案

議案第66号 令和5年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案

議案第67号 令和5年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案

議案第68号 令和5年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案

議案第69号 令和5年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案

議案第70号 令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案

6月定例会に提出された請願・陳情

不採択

陳情第2号 全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

継続審査

請願第1号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願

陳情第1号 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める
陳情書

陳情第3号 学校給食費の無償化を求める陳情書

陳情第4号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き
上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

陳情第5号 特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改
正を求める意見書の提出

全国市議会議長会表彰

6月定例会において、議員在職20年議員に表彰状が伝達されました。

在 職 20 年



田 中 耕太郎 議員



藤 原 明 議員



武 田 晋 議員



佐 藤 久 勝 前議員



小 畑 淳 前議員



表彰状伝達の様子

議会報委員会 の紹介

～ 議会の情報を皆様にお届けします ～

年4回（5月、8月、11月、2月）発行する「市議会だより」は私たちが編集しています。

見やすく親しみのもてる紙面づくりを心掛けてまいります！



写真右から

吉田 勇一郎	委員
今泉 まき子	委員
石田 健佑	委員長
伊藤 深雪	副委員長
工藤 賢一	委員

大館市役所5階展望ロビーにて

去る6月1日、阿部文男議員がご逝去されました。
ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈りします。



故 阿部 文男
議員

編集後記

福原市政3期目が幕を明け、議長は「政策立案ができる議会を目指す」と表明しました。
現代社会は急速に変化し、予測不能な事象が次々と起こります。
対話型AIの「チャットGPT」など、最先端技術が次々と登場しています。
正しい情報を自分で判断し、選択する能力が求められる時代です。
この文章の添削は、まさに時代の最先端技術である「チャットGPT」を活用して作成しました。



議会や議会報も、時代とともに変化と改善を行います。
(石田 健佑 記)